

補助金評価シート

区分	重点 (重点以外)	補助根拠	法令補助 ・ (その他補助)	開始時期	平成29年4月1日	終期	平成32年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟市民芸術文化会館事業費補助金 市民の芸術文化活動の振興を図るため、質の高い多様な文化芸術の鑑賞機会の提供に関する事業、人材育成に関する事業、舞台芸術の創造と発信に関する事業などを対象に補助を行う。						
款・項・目	総務費・総務管理費・文化振興費						
所属等	文化スポーツ部 文化政策課 管理チーム 電話32560						

年 度		平成29年度 (1年目)	平成30年度 (2年目)	令和元年度 (3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	180,000	189,000	180,000
	決算(千円)	145,375	185,452	180,000
補 助 率		27.4%	36.6%	35.0%
目 標		市民の自発的な芸術文化活動の支援を図るとともに、舞台芸術の振興を図り、もって本市の芸術文化活動の基盤の充実を図りながら、文化のかおりのするまちづくりに努める。 <目標が数値でない場合の評価方法> 事業報告等により入場者数や事業ごとの収益など事業実績を確認し、本市の文化振興に寄与しているか総合的に評価する。		
目標に対する達成度 (指標)	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館などの諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニア育成を目的とした事業を行ったほか、Noism等の新潟発創造事業により、新潟独自の舞台芸術を全国に向け発信するなど、新潟市の文化振興に大いに寄与したといえる。	市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館などの諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニア育成を目的とした事業を行ったほか、Noism等の新潟発創造事業により、新潟独自の舞台芸術を全国に向け発信するなど、新潟市の文化振興に大いに寄与したといえる。	市民芸術文化会館の三つの専門ホールや音楽文化会館などの諸施設を十分に生かした、質の高い創造性あふれる鑑賞事業を主催するとともに、音楽などの愛好者の拡大とジュニア育成を目的とした事業を行ったほか、Noism等の新潟発創造事業により、新潟独自の舞台芸術を全国に向け発信するなど、新潟市の文化振興に大いに寄与したといえる。
補助事業者による情報の公表		(公財) 新潟市芸術文化振興財団ホームページ		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	<input type="radio"/>	e. 指標の推移が維持・向上しているか	<input type="radio"/>
		b. 補助率は1/2以内か	<input type="radio"/>	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	<input type="radio"/>
		c. 補助額が5万円以上になっているか	<input type="radio"/>	g. 目標は数値化されているか	<input checked="" type="radio"/>
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	<input type="radio"/>	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	<input type="radio"/>
×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組>				
	<g～hにおける取組> g:文化活動の振興については、その性質上入場者数や収益のみでは測れない側面があり、目標を数値化することは困難であると考え。				
目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>				
① 拡充・改善 ( 補助率, 補助額, 補助対象経費, その他 ) ② 継続 ③ 廃止					
①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 質の高い芸術文化に触れる機会の提供、人材育成のほか、新潟独自の舞台芸術を創造・発信するなど、本市の文化振興に大いに寄与しており、継続すべきと考え。					